

I-1 日本人の旅行市場の概況

1 費用負担および旅行形態から見た旅行市場 個人旅行・個人負担の旅行シェアが約7割

(1) 旅行市場の区分

日本人の旅行市場を「国内旅行（宿泊旅行のみ対象、日帰り旅行含まず）」と「海外旅行」の2つに大きく分け、構造を概観する。

まず旅行目的と旅行形態（団体・個人等）に着目し、旅行市場を「個人で実施する観光旅行」「帰省や家事のための旅行」「組織が募集する団体旅行」「出張や業務旅行」「会社がらみの団体旅行」の5種類に区分した（表I-1-1）。この5つの市場区分について、延べ旅行者数（単位：人回）をベースとしてそれぞれのシェアを算出すると、「個人で実施する観光旅行」が最も大きなシェアを占めていることが分かる。国内旅行では全体の5割強、海外旅行では全体の約6割が「個人で実施する観光旅行」である。これに次ぐのは国内旅行では「帰省や家事のための旅行」（2割弱）、海外旅行では「出張や業務旅

行」（1割強）となっている。国内旅行と海外旅行を比較すると、国内旅行では「帰省や家事のための旅行」のシェアが大きい点が特徴である（図I-1-1、図I-1-2）。

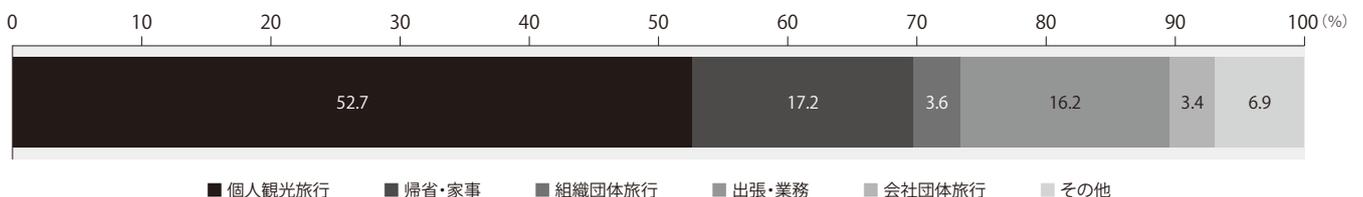
次に、旅行市場の構造を「費用負担者」と「旅行形態」の2つの視点から見ていく。旅行の費用負担者という視点から「個人負担」と「法人負担」に分けると、「個人で実施する観光旅行」「帰省や家事のための旅行」「組織が募集する団体旅行」が主に個人負担の旅行、「出張や業務旅行」「会社がらみの団体旅行」が主に法人負担の旅行に相当する。費用負担者を軸に旅行市場を区分し、それぞれのシェアを延べ旅行者数（単位：人回）ベースで算出すると、国内・海外旅行ともに個人負担が約7割、法人負担が約2割を占めていることが分かる（表I-1-2）。

「個人旅行」と「団体旅行」の旅行形態別シェアについては、「個人で実施する観光旅行」「帰省や家事のための旅行」「出張や業務旅行」が個人旅行、「組織が募集する団体旅行」「会社がらみの団体旅行」が団体旅行に相当する。それによると

表I-1-1 旅行市場の区分

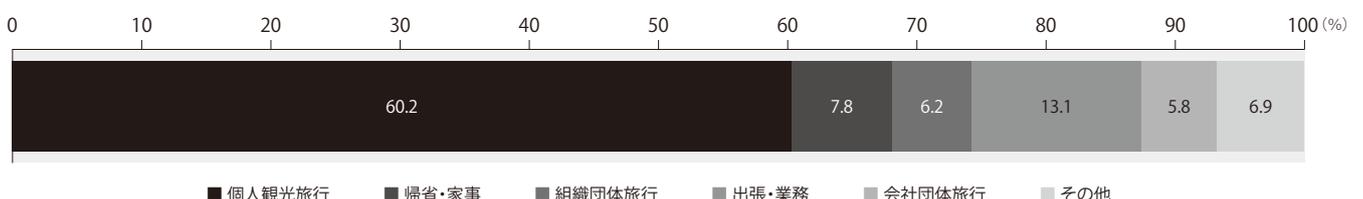
市場区分	定義
個人で実施する観光旅行	個人で実施する観光旅行。スポーツ旅行。旅行会社のパック旅行に参加した場合も含める。
帰省や家事のための旅行	帰省や冠婚葬祭関連の旅行（帰省ついでに行った観光旅行は個人で実施する観光旅行）。
組織が募集する団体旅行	町内、農協、郵便局、信金、宗教団体、サークルなどが募集する旅行。
出張や業務旅行	打ち合わせや会議、視察目的の旅行。
会社がらみの団体旅行	職場旅行や招待、報奨旅行。団体で行動する旅行。

図I-1-1 国内旅行市場区分別シェア（2013年）



資料：（公財）日本交通公社「JTBF旅行実態調査」、総務省統計局「国勢調査」をもとに（公財）日本交通公社推計

図I-1-2 海外旅行市場区分別シェア（2013年）



資料：（公財）日本交通公社「JTBF旅行実態調査」、総務省統計局「国勢調査」をもとに（公財）日本交通公社推計

国内旅行、海外旅行ともに個人旅行が8割を超えており、個人の傾向が強いことが分かる（表I-1-3）。「費用負担者」と「旅行形態」の2つの軸によって旅行市場を4つに区分すると、それぞれのシェアは図I-1-3、図I-1-4のようになる。個人の

費用負担による個人旅行が、国内旅行、海外旅行ともに約7割を占める。

（中島泰・五木田玲子）

表I-1-2 旅行費用の負担者別に見るシェア（2013年）

（単位：％）

費用負担者	市場区分	国内旅行	海外旅行
個人負担	個人で実施する観光旅行	73.5	74.2
	帰省や家事のための旅行		
	組織が募集する団体旅行		
法人負担	出張や業務旅行	19.6	18.9
	会社がらみの団体旅行		
その他の旅行		6.9	6.9

資料：（公財）日本交通公社「JTBF旅行実態調査」、総務省統計局「国勢調査」をもとに（公財）日本交通公社推計

表I-1-3 旅行形態別に見るシェア（2013年）

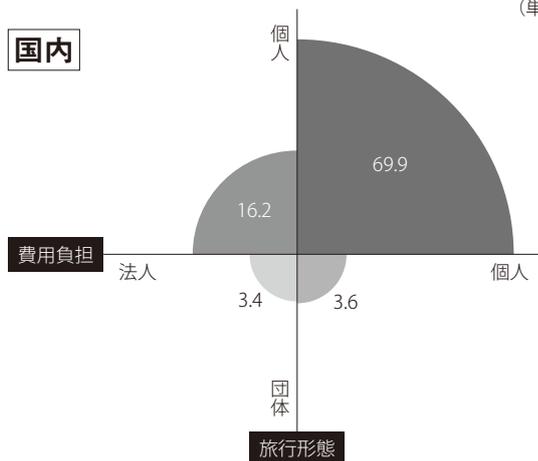
（単位：％）

旅行形態	市場区分	国内旅行	海外旅行
個人旅行	個人で実施する観光旅行	86.1	81.2
	帰省や家事のための旅行		
	出張や業務旅行		
団体旅行	組織が募集する団体旅行	7.0	11.9
	会社がらみの団体旅行		
その他の旅行		6.9	6.9

資料：（公財）日本交通公社「JTBF旅行実態調査」、総務省統計局「国勢調査」をもとに（公財）日本交通公社推計

図I-1-3 国内旅行の負担者別・旅行形態別のシェア（2013年）

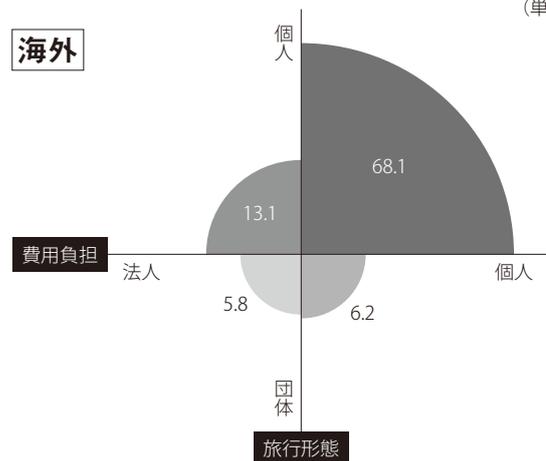
（単位：％）



資料：（公財）日本交通公社「JTBF旅行実態調査」、総務省統計局「国勢調査」をもとに（公財）日本交通公社推計

図I-1-4 海外旅行の負担者別・旅行形態別のシェア（2013年）

（単位：％）



資料：（公財）日本交通公社「JTBF旅行実態調査」、総務省統計局「国勢調査」をもとに（公財）日本交通公社推計

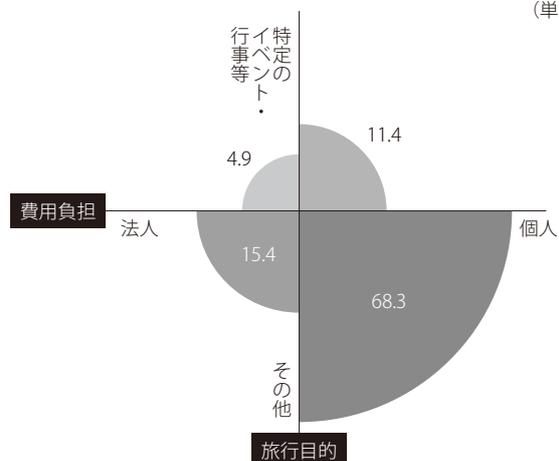
行事やイベント参加目的の旅行市場シェア

行事やイベントへの参加を目的とした旅行は、旅行市場のどのぐらいのシェアを占めるのだろうか。今後の『旅行年報』では、この点に着目し、旅行市場を「観光レクリエーションを目的とした旅行」「特定のイベント・行事等への参加を目的とした旅行」「帰省や家事のための旅行」「一般的な出張業務を目的とした旅行」「法人支出による特定のイベント・行事等への参加を目的とした旅行」の5種類に区分し、それぞれの傾向について定点観測していく予定である。

右図は、14年1～6月期の国内旅行の負担者別・旅行目的別シェアを示したものである。この期間における「行事やイベント参加目的の旅行」シェアは、個人支出・法人支出を合わせ、約15%であった。

図I-1-5 負担者別・旅行目的別のシェア（2014年1～6月期）

（単位：％）



資料：（公財）日本交通公社「JTBF旅行需要調査」、総務省統計局「国勢調査」をもとに（公財）日本交通公社推計